

第58回日本モンテッソーリ協会（学会）全国大会



ワークショップ



担当：京都モンテッソーリ教師養成コース

8月2日（日）13:30～16:30 費用：1,500円

子どもを中心に据えたモンテッソーリ教育実践は、いかにして可能となるのか。皆さまと共に深めてまいりたいと思います。

①～④ 同時進行で開催します。いずれかをお選びください。
先着申込順の定員制。満室の場合は別の番号を選択ください。

① 子どもの育ちを助ける日常生活の練習

～生活をしながら自分を育てる子どもたち～

子ども達の生活全てが日常生活の練習です。今回は「食卓の用意」について具体的に椅子・机の移動、洗う、拭く、エプロンの紐を結ぶなど 実際の子どもの姿を交えながら紹介します。また、縦割り保育の良さでもある育ち合う子ども達の姿や自立を助ける環境・大人の関わり方などを考えたいと思います。

② 子どもの育ちを助ける言語教育

話し言葉から書き言葉へ

話し言葉以外にも思いを届けることが出来る書き言葉を獲得することで、さらに周りの人との関わりが深まります。周りの大人は一人ひとりの子どもをどのように助けてあげたらよいか、皆さんと考えていきたいと思います。言葉遊び、かべ文字、鉄製はめ込み、かなくら、手紙を書く等

③ 子どもの育ちを助ける感覚教育

～混沌の中から秩序が芽生えるとき～

子どもははじめ世界をぼんやり見えています。見て触れて比べる。五感を使う感覚教具は子ども自身を出発点に気づきを促し、深い集中へと導きます。その学びは身の回りへ広がり、秩序や法則への眼差しを育てます。桃色の塔、幾何立体のかごなど教具の紹介を通して、宇宙の謎を解く鍵と言われる感覚教具を経験する子どもたちの姿をお伝えしたいと思います。

④ 子どもの育ちを助ける数教育

カレンダーづくりに至るまでに

～子どもが「自分で日付を書く」までの数の育ち～

子どもが自ら考え、日付を書けるようになるまでには、どのような数の経験が積み重なっているのでしょうか。十進法の提示やセガン板・IIの活動を手がかりに、その道のりをたどりながら、カレンダーづくりの意味を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

申し込みは お早めに！

大会会場から徒歩3分

ワークショップ会場 京都カトリック信愛幼稚園
京都市中京区河原町三條上ル下丸屋町415